

本屋大賞 2021 が決定！
 文化センター、やまんなか
 特設コーナーを設置中です

図書室からのビッグでブックなお話です！新作や、あのお話作をご紹介します。

いま話題のあの本を毎月ご紹介！

話題

ドキュメント 著：湊かなえ 「伝えるとはなにか」



陸上で全国大会を目指していた町田圭祐は中学時代に交通事故に遭い高校では放送部に入学。3年生引退後、新たな題材として陸上部を撮影していくが、やがて映像の中にタバコを持って部屋から出てくる同級生の姿が映っていた。真実を探るうちに計画を企てた意外な人物の姿が明らかになっていく。

いま話題の本を毎月ご紹介

図書司書補が厳選する今月の1冊

文セ図

護られなかった者たちへ 著：中山七里



震災から4年後に起きた連続餓死殺人事件の被害者はいずれも悪い噂のない善人ばかり。捜査一課の苦練はある共通点を見つけ容疑者にある一人の男が浮上する。罪を犯してまで護らなければならなかったことは。どんでん返しの帝王が日本の社会福祉制度、生活保護の実像を描いた社会派ミステリー。

文化センター図書室

国道食堂 2nd season 著：小路幸也

やま図



元プロレスラーが営む国道沿いのドライブイン「ルート517」。さまざまな人が集うこの店の食事はどのメニューも美味しいが、ちょっと変わっているのはプロレスリングがあること。偶然が運命のいたずらか、とんでもないことが起きることが…。そこに集まる人々を描いた人気シリーズの第2弾。

やまんなか図書室

本屋大賞コーナーを展開中



本屋大賞 2021 にノミネートされた作品や、過去に大賞を受賞した作品などを集めた本屋大賞コーナーを両図書室に設置中。映画やドラマ化された作品も多いので、原作を読んで違いを楽しんでみては！



52 ヘルツのクジラたち 著：町田そのこ

耳を澄まして届くことのない悲痛な声に溢れている——。2021 年本屋大賞受賞作「52 ヘルツのクジラたち」

著者 ▶ 1980 年生まれの 41 歳。福岡県在住の女性作家。
 物語 ▶ 52 ヘルツのクジラとは、ほかの鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く世界で一頭だけのクジラで、世界で一番孤独と言われている。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえに愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる——。注目の女性作家初の長編作品。

今月の新着本

<p>星をつける女 著：原宏一</p>	<p>今度生まれたら 著：内館牧子</p>
<p>我が師・志村けん 著：乾き享けそ太郎</p>	<p>どんな咬み犬でもしあわせになれる 著：北村紋義</p>
<p>走れ外科医 著：中山祐次郎</p>	<p>言いかえ図鑑 著：大野萌子</p>

子どもたちにオススメの本

<p>あなたがだいすき 著：鈴木まもる</p>	<p>女の子はどう生きるか 著：上野千鶴子</p>
-----------------------------	-------------------------------

……… 事業決定の概要 ………
 路線名 ▶ 主要地方道鹿屋吾平佐多線 (大隅縦貫道)
 路線延長 ▶ 約 16.0km
 全体事業費 ▶ 約 320 億円
 令和 3 年度事業費 ▶ 4,000 万円
 (初年度の事業費は道路測量設計業務や用地調査など)
 東九州自動車道
 串良鹿屋道路 ▶ 6.1km
 現道活用区間 ▶ 6.5km
 吾平道路 ▶ 4.2km
 吾平大根占田代道路 ▶ 16.0km



令和 3 年 4 月 新規事業化 **決定**

鹿屋市吾平町〜錦江町田代麓間の約 16 km
大隅縦貫道
 地域高規格道路である大隅縦貫道のうち、鹿屋市吾平町から錦江町田代麓間の約 16 km、吾平大根占田代道路が、令和 3 年度の新規事業として国土交通省に採択されました。

鹿屋市から南大隅町を結ぶ大隅縦貫道は、地域の自立的発展や地域間連携を支える主要な道路として、地域高規格道路に指定されています。平成 6 年に候補路線に指定され、大隅半島の産業や観光振興、地域存続に大きな期待が寄せられる一方で、平成 10 年に第 1 期計画路線に指定されてから 23 年が経過。物流や観光振興、防災面からも早期整備を望む声が強くなっていました。
 令和元年度は錦江町で大隅縦貫道整備促進決起大会を開催し、1 市 4 町から約 600 名が参加。早期全線開通を求めて決議を採択しました。「大隅はひとつ」を合言葉に要望を続け、今年 4 月に国土交通省が全体事業費 320 億円、初年度 4 千万円の新規事業として採択。実現に向けた大きな一歩を踏み出しました。



令和元年 8 月 24 日、錦江町文化センターで行われた決起大会には 1 市 4 町から 600 名以上が参加し、早期実現を求める決議が採択されました。